

# 銀杏企画三丁目の掲示板

[トップページへ戻る](#)

Name	ボーダー	e-mail	
Title			
<input type="text"/>			
Message			
<input type="text"/>			
<input type="button" value="とうこう"/>			

[1866] 「シャッターアイランド」 2010年5月21日 7時7分

レオンさん e-mail

「シャッターアイランド」(レオナルド・ディカプリオ主演のアメリカ映画)を観ました。

孤島に、精神を患った犯罪者を収容する病院があります。この劇映画は、その病院の話を描いています。

第1に、映画館は、「この映画の真実を考えるヒント」を映画が始まる前に教えていました。第2に、私は、「ビューティフル・マインド」(ラッセル・クロウ主演のアメリカ映画)を観たことがありました。それで、ある程度、この映画の結末が途中で分かっしまいました。

この映画は、ロボットミーを肯定しています。「精神を患った犯罪者を収容する病院」なるものの存在を肯定しています。この映画は、「精神障害者」を差別しているのではないのでしょうか。私には、そう思えました。

[1865] 無力なオジサンのつぶやき 2010年5月15日 11時8分

レオンさん e-mail

若い女性が、渋谷の街を歩いています。「私を見なさい。ほら、「かわいい」でしょう。「きれい」でしょう。異性愛者(異性を好きになる傾向が強い人)に、そういう「声」が聞こえてきます。これは、幻聴ではありません。

しかし、「おまえに、女性を幸せにすることが出来るのか。(そういう言い方が、女性差別的なら)おまえに、女性と幸せになることが出来るのか。おまえには、経済力がないではないか。おまえは、自分のことで精一杯ではないか。自分のことすら、うまく出来ないではないか。おまえは、女性のために、自分(の趣味など)を犠牲に出来るのか。誰が、おまえなんか相手にするか。おまえは、無力なオジサンではないか」。異性愛者(異性を好きになる傾向が強い人)に、そういう「声」も聞こえてきます。これも、幻聴ではありません。

ある意味で、残酷なことかも知れませんが、でも、この格差社会では、恋愛にも、本当は「隠れた資格のようなもの」が必要なのかも知れません。

[1864] [1848]の訂正 2010年5月10日 19時34分

レオンさん e-mail

[1848](恋愛論①)の本文中、上から9行目(空白行を除いて計算)。「北川景子」を「北川景子さん」に、訂正します。

[1861]「ただいま それぞれの居場所」 2010年5月8日 23時23分

レオンさん e-mail

日本映画「ただいま それぞれの居場所」を観ました。

これは、施設から追い出されたお年寄りたち(介護保険の制度の枠組みから漏れてしまう人びと)やその家族たち、そういうお年寄りたちの面倒をみる施設のスタッフたちなどを描いたドキュメンタリー映画です。

大宮浩一監督の望む反応とは異なっているかも知れませんが、私はこの映画を観て、暗くて悲しい気持ちになってしまったのでした。

ただいま それぞれの居場所  
<http://www.tadaima2010.com/>

[1857] すべての心病める人々へ 2010年5月5日 19時45分

ボーダーさん e-mail

やっぱり、もうそろそろ時期なんじゃないかと思う。  
隔離や拘束や幽閉や隠れではなくて、心病めるものが自己主張すべき時が。  
それも、恨みや怒りの暴発ではなく、障害学的に自己を正当化すべき時が。  
ひきこもりもメンヘラーもボダも、「告白」するのではなく、ふつうに。  
ベーツシク・インカムなんてしょぼいこと言わずに、もっと富を集積すべきでは。  
網野善彦のいうように、「無縁」の人々に膨大な富が蓄積されてしかるべき。  
金融資本は、精神障害にこそ投資すべき。  
坂本龍馬がADHDだと聞いたが、ホントかもしれない。  
現代は、たしかに「維新」でも「革命前夜」でもないが、時代閉塞は極まっている。

こんなときにこそ、預言者としての精神障害者が活躍するのだ。  
妄想すれすれに創造する。  
ユングの集合的無意識が歴史の古層から爆発する。  
狂気の復権を！！  
しかも、歴史を深層から揺り動かす本質諸力として。  
それは、時代的に可能である。  
それしか、時代の未来はない。  
大きな物語が終わった今、正常に狂うことが求められている。  
ニーチェの遺産を絶やしてはならない。  
芸術と学問の世界を復興しなくてはならない。  
すべての心病める人々を励まさなくてはならない。

[1854] 彼氏欲しいなあ～ 2010年5月4日 15時9分

ミポリンさん e-mail

初めまして、ミポリンです！！

この掲示板時々覗いてます。

彼氏・・・欲しくないって言ったら嘘にな。。。  
だけど一番欲しいのは  
これからの人生を手を取り合って一生を共にする相手だ！！

だからって結婚目当てに彼氏が欲しい訳でもない。。。

あ～だからって・・・だからって・・・。

[1852] 恋愛論③ 2010年5月4日 10時2分

レオンさん e-mail

私自身が、オジサンでした。

[1850] クスクスを食べた 2010年5月2日 9時13分

レオンさん e-mail

渋谷のアップリンク(映画館)のスタンプがたまりました。そのために、無料で、クスクスという料理を食べることが出来ました。クスクスは、タベラというお店で食べました。食べてみて、あまりおいしいとは、私は思いませんでした。

「私は、おいしいと思いました」。クスクスを食べた感想を聞いたら、ファーストの職員さんの1人は、遠慮がちに、そんなようなことを言っていました。

職員さんは、メンバーよりも、おいしいものをたくさん食べているようです。こんな考えは、偏見でしょうか。

クスクスにも、「おいしいクスクス」と「おいしくないクスクス」があるのかも知れません。それと、「肉を食べれない人」もいれば、「魚を食べれない人」もいるように)食事の好みは、人それぞれだ、ということもあるかも知れません。

[1849] 恋愛論② 2010年5月1日 17時35分

レオンさん e-mail

日本には、男色(なんしょく)文化というものがあるそうです。男色とは、「成人前の年下の男性と成人した男性のあいだの性行為を含む親密な関係を指す。未成年の男性は受動的な役割を求められたのに対し、成人男性は能動的な役割であるとされた。まず、年齢差をとまなう、対等ではない関係であるという点において、現代の同性愛一般とは異なっている。また、江戸時代では、男色は衆道(しゅどう)とも呼ばれていた」そうです(『同性愛と異性愛』、風間孝・川口和也著、岩波新書、95ページ)。

良く「おかまは、気持ち悪い」などと言って、セクシュアル・マイノリティの人を差別する人がいます。「おかま」というのは、ゲイの人のことなのか、性同一性障害の人のことなのか、女性的な男性のことなのか、私には良く分かりません。でも、タレントのはるな愛さんとか椿姫(つばき)彩葉さんなどは、私は「かわいい」と思います。「気持ち悪い」とは思いません。

これらの考えは、「理論的」な色彩の強いものです。実際に、同性と恋愛することになりそうになったら、やっぱり私は逃げてしまうかも知れません。

私は、女性と恋愛することを本当は恐れています。何故かというと、女性と恋愛したら、女性との間に女性差別の問題が発生してしまうかも知れない、と考えるからです。だから、結婚にも、本当は私は恐怖を感じます。恋愛の相手がいないことを、私は喜ぶべきなのかも知れません。

[1848] 恋愛論① 2010年5月1日 17時32分

レオンさん e-mail

「同性愛者を差別するのは、間違いだ。だが、自分が同性と恋愛するのは、嫌だ」。私は、そう思っていました。私には、異性愛の傾向(異性を好きになる傾向)があるかも知れません。私は、男性が嫌いです。特に、満員電車に乗っている男性が嫌いです。

でも、最近は考えが少し変わったかも知れません(満員電車に乗っている男性が嫌いだ、という考えは変わりません)。「オジサンと恋愛するのは、嫌だ。でも、今までに出会ったことはないが、もし若い女性のように「かわいい」大人の男の子と出会ったら、そういう大人の男の子とだったら、恋愛するのも良いかも知れない」。そんな気もしています。このような考えは、差別的でしょうか。容姿や年齢による差別でしょうか。星野寛子(映画「ハンサム★スーツ」の登場人物。北川景子が演じた)のような人に怒られてしまうでしょうか。

もちろん、若い女性のように「かわいい」大人の男の子でも、強姦や痴漢をしたりされたりするのは、ごめんです。恋愛といっても、近親相姦の関係も、他人はどうであれ(映画「プレシャス」の近親相姦と、映画「オールド・ボーイ」の近親相姦では、意味が

全然違います)、自分がそういう関係になるのは、ごめんです。(続く)

まへのページ

パスワード

削除番号

1866

記事削除

powered by **duone**  
NET